

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2021年		授業計画	
時期	1年A巡	単元	実習	教科名	エンジン1 (計測器取扱)
科目	自動車整備	教科書等 持参品	3級/2級ガソリンエンジン自動車 基礎自動車整備作業	発行日	2021.4.1
総時限	18時限		日産4級整備テキスト エンジン編	教科担当	川田
必要時限	17時限		実習ノート		青田
指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解、組立、点検等について指導する。					
教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入) ①エンジンの構成、部品名称、構造、作動を理解する。 ②一般工具の取り扱い、習熟する。					
授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか) ①エンジンの構成部品、名称、構造、作動が理解出来る。 ②4ストローク1サイクルガソリンエンジンの作動が理解出来る。 ③エンジン整備の実務において、1番シリンダ圧縮上死点の意味が理解出来るようになる。 ④一般工具、特殊工具の使い方が理解でき、適切に使用できるようになる。					
学習評価 (期末試験での主な試験項目) 1) 履修試験での学習評価 筆記試験100点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2) 出題試験項目 1. 筆記試験 ①4サイクルエンジンの作動。 ②エンジン各部、SST、計測器の名称。 ③エンジン分解組付け時の注意事項。					
準備学習 事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとに、各装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。					

